

小池滋の

ヨーロッパ鉄道 歴史と文化 II



社団法人 ヨーロッパ鉄道協会

はじめに

1825年、世界初の鉄道による公共交通が始まりました。イギリスのダーリントンとストックトンの間です。以来、人々は、科学技術発展の成果が蒸気機関車を通して具体的な形となって、自分の目で明らかにすることが出来ました。そのことが、その後の世界を一新する原動力となったことは疑いありません。産業革命とも相まって、ものすごい勢いで時代を変化させました。鉄道は単なる輸送機関ではなく、あらゆる方面に影響し、人々の生活を変えてゆきました。その後の困難な長い歴史を経て、今日、第二の大鉄道時代を迎えようとしています。

社団法人ヨーロッパ鉄道協会では、ヨーロッパ鉄道の利用促進のために、ヨーロッパの鉄道に関する知識の向上とヨーロッパの鉄道への関心を導くような、今までと違った広報活動が必要ではないかと案じてきました。これまで40年間にわたってヨーロッパ鉄道手配業務に携わった経験により、正確で最新の列車案内や実用的な内容の本や広報だけでは、ヨーロッパ鉄道への関心が大きく広まることはないと感じています。

次世代のヨーロッパ鉄道ファン層を広げるには、より多面的で、物語性を持ったアカデミックな鉄道のテキストが必要です。教養としての鉄道と文学、絵画、映画、リゾート、旅行産業など、その裾野は果てしなく広がっています。同時に、ヨーロッパ鉄道の長い歴史と経験から日本が学ぶべきことや参考にすべきことはまだまだ数多くあります。

本書は、このような趣旨に基づいて作成されました。本書をテキストとして、鉄道セミナーや検定試験を実施することにより、ヨーロッパ鉄道への一層の関心を導き、これまでとは異なる新たな鉄道ファンの誕生に貢献できると確信しています。今後は、セミナーやWEB検定、電子テキストの出版などを予定しています。今後の予定はホームページでお知らせします。膨大なシステムである鉄道をすべて捉えることは困難ですが、その研究への足がかりになれば幸いです。

本書を発行するに当たり、最適の講師として、小池滋先生に講義をお願いしたところ、善意でお引き受けいただきました。2010年3月から12月まで32回にわたって講義をしていただき、その講義録から当社団法人ヨーロッパ鉄道協会が追記・編集してテキストにまとめました。すべての表現・文責は社団法人ヨーロッパ鉄道協会にあります。万全を期しましたが、誤りがありましたらご教示をお願いいたします。

小池滋先生は、東京大学文学部卒業後、東京都立大学、東京女子大学の教授などを歴任されました。英文学の研究者として、とりわけデイケンズ研究の第一人者であると同時に、子供のころからの強烈的な鉄道ファンであり、鉄道に関しても第一人者で、『英国鉄道物語』、『坊ちゃんはなぜ市電の技術者になったか』、『世界鉄道推理傑作選』、『デイケンズ短編集』、『もうひとつのイギリス史』など多数の著作があります。

ご協力いただいた小池先生には心より感謝し、御礼申し上げます。今後も先生からアドバイスを賜り、読者の皆様にはさらなる情報をお伝えできるようにしていく所存です。

2012年●月●日
社団法人ヨーロッパ鉄道協会
理事長 篠崎幸雄

小池滋のヨーロッパ鉄道 歴史と文化Ⅰ

- 00 インTRODクシヨN
- 01 イギリスの保存鉄道
- 02 鉄道と観光産業
- 03 イギリス鉄道の歴史
- 04 フランス鉄道の歴史
- 05 ドイツ鉄道の歴史
- 06 オーストリア、ハンガリー鉄道の歴史
- 07 スイス鉄道の歴史
- 08 イタリア鉄道の歴史
- 09 スペイン鉄道の歴史
- 10 ポルトガル鉄道の歴史
- 11 ベネルクス3国鉄道の歴史
- 12 スカンディナヴィア3国鉄道の歴史
- 13 ロシア鉄道の歴史
- 14 ポーランド鉄道の歴史
- 15 フィンランド鉄道の歴史

16 ヨーロッパ鉄道と日本	1
1 エドモンド・モレル	1
2 国産の蒸気機関車	2
3 「過熱蒸気機関車」	3
4 日本の鉄道電化の始まり	4
5 路面電車	5
6 国産電気機関車	6
7 「国有鉄道法」、「軽便鉄道」	8
8 「ディーゼル機関」	9
9 車輪配列	11
17 駅とは何か	13
1 石川啄木と「あゝ上野駅」	13
2 大衆文化と駅	14
3 ショーウィンドーとしての駅	15
18 ゲージ	17
1 ゲージ1	17
2 ゲージ2	18
3 ゲージ3	20
4 ゲージ4	22
5 ゲージ5	24
6 ゲージ6	25
<small>ちよつと一息 途中下車</small> 異なるゲージ間の乗り入れと通行方向	26
19 勾配	27
1 勾配の表示	27
20 鉄道と文学	29
1 ポール・セルー	29
2 キャサリン・タイナン	30
3 エミール・ゾラ	33
4 チャールズ・ディケンズ	35
5 ジョン・ウエイン	38
6 ミステリー小説と鉄道	40
7 「ソープ・ヘイズル」	42
8 日本の鉄道ミステリー	44

21 鉄道と絵画	45
1 鉄道を描いた美術作品	45
2 ターナー	45
3 オーガスタス・エッグ	47
4 ウィリアム・パウエル・フリス	49
5 ギュスターヴ・ドレ、オノレ・ドーミエ	50
6 クロード・モネ、オーギュスト・ルノワール	51
7 ピサロ、デュフィ、キリコ、デルヴォー	53
8 カッサンドル、杉浦非水、小林清親、須田国太郎	55
22 鉄道と映画	57
1 「フィクションの映画」1 リュミエール兄弟、ガンズ	57
2 「フィクションの映画」2 アルフレッド・ヒッチコック	58
3 「フィクションの映画」3 ルノアール、クレマン	59
4 「ドキュメンタリー映画」1 グリアスン、シュレシンジャー	60
5 「ドキュメンタリー映画」2	61
6 日本のドキュメンタリー映画	63
7 地下鉄道	65
23 鉄道と音楽	67
1 アルテュール・オネゲル	67
<small>ちよつと一息 途中下車</small> 鉄道と建築	68
24 地下鉄の話	69
1 地下鉄は都市交通	69
2 地下鉄の歴史-1	69
3 地下鉄の歴史-2	71
4 地下鉄の歴史-3	73
5 地下鉄と映画	75
6 地下鉄と文学	76
7 地下鉄の電化	77
25 列車の種別	81
1 AVE	81
2 CNL	81
3 EC	81
4 ES	82
5 HST	82
6 ICE	82
7 RJ	83

8 TALGO	83
9 TEE	84
10 TGV	84
26 名前のついた列車	85
1 アイリッシュ・メール	85
2 フライング・ダッチマン	86
3 コーニッシュ・リヴィエラ・エクスプレス	87
4 フライング・スコッツマン、ロイヤル・スコッツ	88
5 ブライトン・ベル、ゴールデン・アロー	90
6 ナイトメール	91
7 オリент急行 1	92
8 オリент急行 2	93
9 オーステンデ・オリент急行	95
10 ディレクト・オリент急行、ヴェニス・シンプロン・オリент急行	96
11 ブルートレイン、ミストラル	97
12 ミストラル	98
13 フリーゲンデ・ハンブルガー	98
14 赤い矢	99
<small>ちよつと一息 途中下車</small> 客車の等級と客車の種類や設備	100
27 ヨーロッパの鉄道橋	101
1 ロンドンブリッジ	101
2 メイドンヘッドの橋、ロイヤル・ボーダー橋	102
3 セトル〜カーライル区間	104
4 ゼンメリング線、ランドヴァッサー橋	104
5 世界最初の鉄の橋、世界最初の鉄道橋	106
6 ロイヤル・アルバート・ブリッジ、テイブリッジ	106
7 フォース・ブリッジ、カンティレバー橋	108
8 フランスの「ガラビ鉄橋」	109
28 鉄道技術の発展	111
1 電気鉄道	111
2 直流電気鉄道	112
3 交流電気鉄道	113
4 高性能交流電気鉄道	114
5 交流電化	116
6 高性能電気鉄道	117
7 カルダン式電動機	119
8 動力分散	119

9 内燃機関 ——— 121

29 鉄道用語1 ————— 123

- 1 鉄道外来語 ——— 123
- 2 ATS ——— 123
- 3 LRT ——— 124
- 4 カント ——— 125
- 5 振り子車両、ペンドリーノ ——— 126
- 6 クロスシート、ロングシート、コンパートメント ——— 126
- 7 コリドー客車 ——— 128
- 8 アイルカー ——— 128
- 9 クロッシング、ポイント ——— 131
- 10 スウィッチバック ——— 131
- 11 ゲージ ——— 133
- 12 シールド ——— 133
- 13 スラック ——— 134
- 14 スラップ ——— 134
- 15 タブレット ——— 135
- 16 ディスクブレーキ ——— 136
- ちよつと一息
途中下車 スイスとチロル地方の蒸気機関車鉄道 ——— 138

30 鉄道用語2 ————— 139

- 1 DMV ——— 139
 - 2 ハイブリッドカー ——— 139
 - 3 ハンプ ——— 140
 - 4 ブッシュプル ——— 141
 - 5 マグレブ ——— 144
 - 6 マルス ——— 146
 - 7 モックアップ ——— 146
 - 8 ラックレール ——— 146
 - ちよつと一息
途中下車 アイルランド、北アイルランド、ギリシャ、ヴァティカン国鉄 ——— 148
-